

レジメン名	診療科
DVMP	血液内科

適応疾患
移植非適応の 多発性骨髄種

1クール	42日間(1~9クール)28日間(10クール以降)
総クール	奏効中継続
休薬期間	6日間

薬剤名(一般名)	投与量(mg/m ²)	投与日 (d1~d5、d1、d8等で記入)
ダラツムマブ	16mg/kg	d1, 8, 15, 22, 29, 36(1クール) d1, 22(2~9クール) d1(10クール以降)
ボルテゾミブ	1.3mg/m ²	d1, 8, 22, 29(1~9クール)

内服併用薬	投与量(mg/日)	用法	投与日(d1~d5、d1、d8等)
アルケラン	9mg/m ²	分1 起床時	d1-4
プレドニゾロン	60mg/m ²	分2 朝昼食後	d2-4
カイトリル	2mg	ベルケイド投与30分前	d1, 8, 22, 29(1~9クール)
アセトアミノフェン	900mg	ダラザレックス投与 30分前	d1, 8, 15, 22, 29, 36(1クール) d1, 22(2~9クール) d1(10クール以降)
ポララミン	4mg		

処方 (輸液・プレメジ・ポストメジを含む)

番号	薬剤名・用量(mg/m ²)	投与方法	投与速度	投与日(d1~5等)
①	ベルケイド1.3mg/m ²	SC	-	d1, 8, 22, 29(1~9クール)
②	デキサート 20mg + 生食 50mL	DIV	60分	d1, 8, 15, 22, 29, 36 (1クール) d1, 22(2~9クール) d1(10クール以降)
③	ダラザレックス16mg/kg + 生食(対応量)	DIV	下記参照	
④	生食 50mL(フラッシュ用)	DIV	10分	

備考 (減量・中止の基準を記載してください)

必要に応じてDay1にモンテルカスト10mgまたは同等品を経口投与すること
ベルケイドは皮下投与で注射部位反応を発現した場合、静注へ変更可能

【ダラザレックス投与速度指示】

● 初回投与・2回目投与

50mL/Hrで開始。1時間毎に50mL/Hrずつ上げ、最大200mL/Hrまで上げることができる

● 3回目以降

初回・2回目投与時にinfusion reactionが認められなかった場合、
100mL/Hrで開始。1時間毎に50mL/Hrずつ上げ、最大200mL/Hrまで上げることができる